

## ■ 建学の理念・精神

### ◆ 建学の心

本学の設置母体である後藤学園は、昭和 23 年に『優れたプロは優れた人間性、体力を持っている』を校訓に、専門教育以外に、特に徳育面を重視し、情操豊かな人材の育成を目的として、武蔵野服飾美術専門学校（現専門学校武蔵野ファッションカレッジ）、武蔵野調理師専門学校、及び武蔵野栄養専門学校を設置した。これら専門学校はこれまでに約 8 万人を上回る卒業生を送りだし、社会における生活文化の発展向上に貢献してきた。

平成 3 年度に至って、学校法人後藤学園は、専門学校の持つ歴史と伝統を高等教育に活かし、なおかつ健康づくり、健康増進のための体育・スポーツの普及振興という時代の要請に沿って、武蔵丘短期大学を設立したのである。

本学創立者の後藤守正名誉理事長は、『本学の役割は社会に貢献できる人材の育成であり』『学ぶ者一人ひとりに、感謝と和の気持ちを大切に作る心を育て』『人々の健康と幸せづくりに役立つための実践的に体得できる解かりやすい授業を行う』と入学案内のなかで述べている。

また後藤人基理事長は、「人々は積極的に健康づくりを求め続けている。武蔵丘短期大学は、こうしたニーズに応えるため、食生活と運動の両面から健康にアプローチする新しい学問領域である『健康生活科』（現在は『健康生活学科』に変更）を開設した。」と言及している。

本学は、緑豊かな環境に恵まれている。表紙にも掲げる校章、三輪（) のマークは、自然（グリーン）と武蔵丘（頭文字 M）の調和を表し、そこで学ぶ若者たちへのメッセージとして、創造、勇気、慈愛という言葉をもつ三つのリングに託している。

なお、開設時の学則第 2 条では『本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、食生活と体育・スポーツに関する理論と実践を基礎とした健康生活のあり方を教授・研究し、もって豊かな教養と高い見識を備えた実践的指導者を養成することを目的とする。』と謳っている。

### ◆ 本学の教育理念に基づく教育の特色

本学健康生活学科は、健康寿命の延伸、生活の質の向上、介護予防といった時代の要請に沿って、「健康」を栄養と運動・スポーツの融合のもとに科学することを目的としており、今後とも「健康生活とは何か」の基本姿勢のもとに教育内容の充実に努めていきたい。このような時代的な要請に応じて、本学では、『栄養科学』と『運動スポーツ科学』の融合を通して、専門領域を広く探求し、知識・技術の研鑽を図り、健康づくりの実践的指導者として社会貢献できる人材の育成を図ることを教育の目的としている。

本学では、時代の変化と要請に沿った教育目的の充実・具現化を目指して、平成 17 年度に学則の一部改定を行った。すなわち、学則第 3 条では、「本学は教育基本法に則り、学校教育法第 52 条の趣旨に基づき、時代の要請である健康づくりについて、栄養科学、運動スポーツ科学の融合のもとに、栄養と体育・スポーツに関する理論と実践を基礎とした健康生活のあり方を教授・研究し、もって豊かな教養と高い学識を備えた実践的指導者を養成することを目的とする。」と謳い、教育内容の充実を図っているところである。